



特許庁事業

**「ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム
(VC-IPAS)」公募説明会**

2024年5月30日

アジェンダ

No.	議題	説明者	資料
1	事業担当からのご挨拶	特許庁	P3
2	ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）の概要について	事務局	P4-11
3	応募に関するご説明	事務局	P12-22
4	プログラム参加の留意事項	事務局	P23-26

1. 事業担当からのご挨拶
2. VC-IPASの概要について
3. 応募に関するご説明
4. プログラム参加の留意事項

1. 事業担当からのご挨拶
2. **VC-IPASの概要について**
3. 応募に関するご説明
4. プログラム参加の留意事項

本プログラムでは、ベンチャーキャピタルへ知財専門家を派遣し、vcを通じたスタートアップへの知財戦略構築等の支援を行います

ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）について

革新的な技術やアイデアを基に創業するスタートアップにおいては、技術・アイデア等の知財が主な財産であり、競争力の源泉となっています。しかしながら、スタートアップにおいては、知財に関する知識を持っていなかったり、知財戦略の立案等にかかるリソースが不足していたりするため、コアとなる知財が十分に保護・活用されず、競争力を失ってしまうことが課題となっています。

本プログラムでは、スタートアップを支援（投資・経営支援等）するベンチャーキャピタル（以下「vc」という。）へ弁理士・弁護士といった知財の専門家（以下「専門家」という。）を派遣し、**vcを通じたスタートアップへの知財戦略構築等の支援を行うプログラム**です。派遣された専門家がvcと協働して、投資前及び投資後のスタートアップに対して事業戦略に連動した知財戦略構築等の支援を行うことにより、スタートアップの成長を加速します。

2年目となる本年度では、**ディープテック領域を主として支援するvc**に加え、**地方を拠点とするvc**や地方にインキュベーション施設を有するvc等にも焦点を当てることで**地方のスタートアップ知財エコシステム構築を促進**させます。

VC-IPAS



- 派遣された知財専門家がVCと協働して、投資前及び投資後のSUに対して事業戦略に連動した知財戦略構築等の支援を行うことにより、SUの成長を加速させる。

VC-IPASでは、VCのニーズに合わせた専門家の選定、専門家による幅広い知財支援、VCへの知見共有、スタートアップへの知財意識の啓発を行います

VC-IPASの特徴



VCのニーズに合わせた 専門家の選定

- ✓ VCのニーズに合わせた技術分野や知財関連業務の専門性を有し、さらに、高いコミュニケーション力や、スタートアップに対する豊富な支援経験等も有する専門家を派遣します。



専門家による 幅広い知財支援

- ✓ 専門家は、投資前スタートアップ、投資後スタートアップに対する先行技術調査、FTO調査、知財戦略構築の支援等、幅広い知財関連業務を行います。



VCへの知見の共有、 スタートアップへの 知財意識の啓発

- ✓ 専門家は、キャピタリストと協働してスタートアップを支援することで、知財支援に関する知見をVCに共有します。また、専門家は、スタートアップに対して、知財意識向上に向けた啓発を行います。

派遣された知財専門家による知財業務の実施を通して、vcによるスタートアップへの知財支援の知見獲得及び業務運用能力向上を支援します

派遣された知財専門家による支援内容（1/3）

本事業では、派遣された知財専門家による、下記に例示する知財業務の実施を通して、スタートアップへの知財支援、vcのスタートアップ支援業務における知財の取り扱いに関する知見の獲得及び知財業務運用能力向上を支援します。

下記の知財業務は昨年度事業実績等に基づくものですが、これ以外にもvcが必要と考える業務がありましたら、適宜事務局や特許庁と協議のうえ、実施可能です。詳細は「ベンチャーキャピタルの知財業務メニューブック」（募集要領別添）を参照ください。

VCにおける知財業務例			概要
投資検討時	保有知財やリスクの確認	保有知財・技術を確認するための事業内容・事業戦略の理解	・ 知財はスタートアップの事業と密接に関連するものであるため、スタートアップの保有知財・技術の確認という視点から、事業内容・事業戦略を理解する
		保有知財・技術の確認	・ スタートアップの保有する知財・技術を確認する ・ スタートアップの事業について他社に対する参入障壁がどの程度形成できているかを確認する
		権利帰属の確認	・ スタートアップが保有する技術を用いた事業ができなくなるリスクを確認する
		リスク評価のための特許調査	・ スタートアップが事業を行う際に、他社の知財を侵害するリスクがないかを確認する
	知財流出リスクの確認		・ スタートアップが事業を行う上で、知財に関わっている技術者等が他社に流出するリスクを確認する
	資金計画の確認		・ スタートアップの資金計画において知財に関する費用を算入しているか確認する

派遣された知財専門家による知財業務の実施を通して、vcによるスタートアップへの知財支援の知見獲得及び業務運用能力向上を支援します

派遣された知財専門家による支援内容（2/3）

VCにおける知財業務例			概要
スタートアップへの知財支援	知財啓発		・ スタートアップにおいて、知財に関する知識を定着させ、VC・知財専門家との知財に関するコミュニケーションをスムーズに行うため、知財啓発を行う
	他社との契約・社内規程類の整備・運用状況の確認		・ 他社との契約内容、社内規程の整備・運用状況について、将来のリスクとしないかを確認する
	知財管理体制の確認と助言		・ スタートアップの知財を管理する体制を確認する
	知財戦略の検討	コア技術の言語化や競合優位性の分析※	・ スタートアップが有する技術において、顧客への提供価値を実現するコアはどれか、またコア技術をで競合優位性を築くことが出来るのかを確認する
		権利化・秘匿化	・ 公開されると他社に知られるため、スタートアップの知財の権利化（公開）、秘匿化を検討し、方針を策定する
		事業戦略や開発計画を踏まえた出願スケジュールの検討※	・ 事業戦略や開発計画を踏まえ、適切なタイミングで出願を行うための計画を策定する
		秘匿情報の取扱い	・ スタートアップが秘匿化する技術やノウハウについて、不正競争防止法に基づく営業秘密（企業の研究開発や営業活動の過程で生み出される秘匿すべき情報）としての保護が受けられるようにする ・ 特許出願前の技術に関する情報の取扱いについて確認する
	他社との関係における知財の取扱い方		・ 他社との共同研究やライセンスに関して、知財の取扱い方針を策定する。

※「ベンチャーキャピタル（vc）の知財業務メニューブック」には記載がない内容

派遣された知財専門家による知財業務の実施を通して、vcによるスタートアップへの知財支援の知見獲得及び業務運用能力向上を支援します

派遣された知財専門家による支援内容（3/3）

VCにおける知財業務例			概要
スタートアップへの知財支援	知財調査の検討	出願前調査	• スタートアップが出願する知財について、権利化できるか見込みを立てる
		優位性確認のための他社技術・動向調査	• スタートアップが保有する技術について、競合他社は存在するか、存在する競合他社と比較した場合の優位性はどこにあるのかを把握する
		侵害予防調査	• スタートアップが事業を行う際に、他社の知財を侵害するリスクがないかを調査する
	侵害対策の検討		• スタートアップが事業を行う際に侵害してしまう可能性がある他社の知財を発見した場合（警告状を受け取った場合や訴訟となった場合等も含む。）に、対策を検討する

専門家の支援内容に含まれない業務

- 専門家の支援内容には、明細書作成、出願書類作成、拒絶理由通知対応、補正案作成、契約書作成、侵害訴訟対応などの弁理士や弁護士などが行う書面作成等に関する業務は含まれません。

今回のプログラムにあたって、VC1社あたり、2名の専門家を派遣し、合計200時間ほど稼働する想定です

知財専門家の派遣形態



派遣人数

- 1つのVCに対して、支援先スタートアップの技術分野等に応じ、**2名**程度の専門家を派遣します。



業務時間

- VC 1 社当たり**合計200時間**
※派遣開始後に、派遣先での専門家の活動の状況や派遣先VCのご希望等を踏まえて、従事時間を増減する場合があります。



業務形態

- 主に**テレワーク**（必要に応じて**対面**での支援も可能です。）
※必要に応じて対面での支援も可能ですが、執務環境は派遣先VCでご準備ください。
専門家の人件費及び旅費は事務局が負担いたします。

昨年度参加したvcからは、スタートアップへの知財支援が実行できた、専門家活用の理解が促進した、知財リテラシーが向上したといった声をいただいています

昨年度参加vcの声

●スタートアップへの知財支援の実行



- ・派遣された知財専門家から客観的に意見をもらえ、投資判断や踏み込んだスタートアップ支援に繋がった
- ・規程類整備や上場を目指したスタートアップへの体制整備の支援をはじめ、調査や知財戦略構築が非常に重要であると気付いた

●知財専門家活用の理解促進



- ・知財専門家の活用方法の解像度が上がった
- ・全てをキャピタリストが実施するのではなく、知財専門家に繋ぐ重要性が分かった

●知財リテラシーの向上



- ・知財専門家にセミナーを開催してもらい、vc全体の知識の底上げが出来た
- ・簡易的な特許調査のやり方が身に付いた
- ・普段の会話で「知財」が出てくることはなかったが、本プログラムを通してそういった普段の知財意識の底上げが出来た

1. 事業担当からのご挨拶
2. VC-IPASの概要について
- 3. 応募に関するご説明**
4. プログラム参加の留意事項

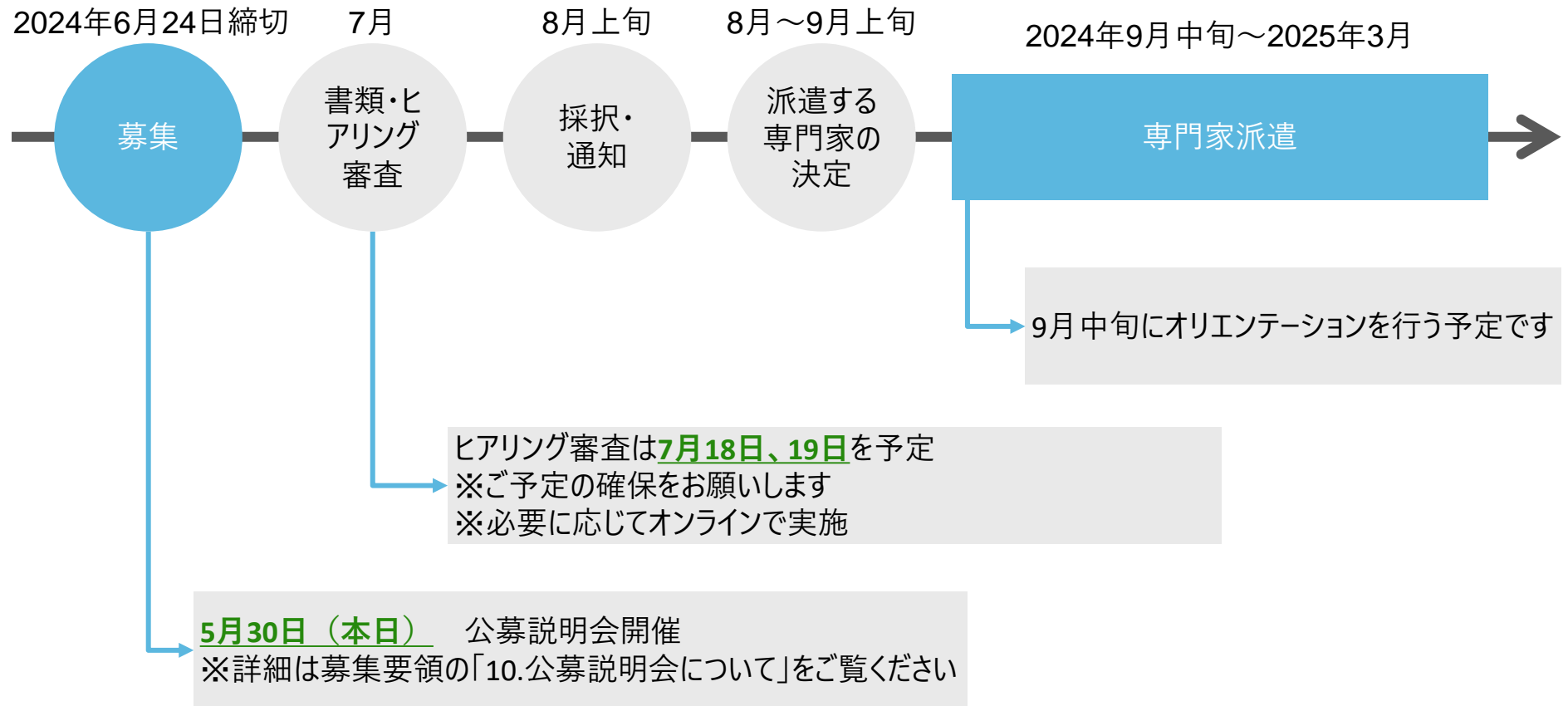
募集要領に記載する要件を全て満たすことが必要になっておりますので、ご応募にあたっては貴社の状況を十分にご確認ください

応募概要について

募集対象	<p><u>以下の要件を全て満たすvcが募集対象です。</u></p> <p>主として投資事業を行う企業だけでなく、事業会社が保有するコーポレートvc部門等の投資事業を行う企業も応募可能です。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 技術系スタートアップへ出資する投資活動を行っていること2. スタートアップに対して、知財支援を行う必要性を認識していること3. vcのキャピタリストが知財専門家と協業し、スタートアップを支援できる態勢が整備されていること4. 日本国内に法人格を有すること5. 反社会的勢力またはそれに関わるものとの関与がないこと	
遵守事項	派遣協定の締結	<p>➤ 専門家の受け入れに関する協定書を事務局と締結すること</p> <p>※協定書は機密保持や損害賠償・免責などの内容を含む</p>
	活動状況把握への協力	<p>➤ 事務局による本プログラムの活動状況把握のため、専門家の活動状況や活動成果に関する情報を収集・管理し、事務局の求めに応じて提供すること</p> <p>➤ 専門家が事務局に提出する書類について、派遣先vcの担当者が確認すること</p>
応募期間	<p><u>2024年5月24日（金）から2024年6月24日（月）23:59まで</u></p> <p>※締め切り前にも、選考を開始する場合があります</p>	
採択数	<p><u>15社</u></p> <p>※昨年度と比較して、5社増枠</p>	

6月24日の締切後、必要に応じてオンラインでのヒアリング審査を行い、8月上旬には採択結果を通知いたします

審査・支援スケジュール



6月24日（月） 23:59までに提出書類を添付の上、メールにてご送付ください

応募方法



提出書類

< 必須提出 >
応募フォーム（Excel形式）
→IP BASEのHP（<https://ipbase.go.jp/for-vc/>）よりダウンロードしてください
< 任意提出 >
補足資料（pdf形式）
→会社概要や投資ポートフォリオ等



提出先

メールにて上記書類を添付してお送りください。

- 宛先名：ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）事務局
（有限責任監査法人トーマツ内）
- E-mail：vcipas-office@tohmatu.co.jp
- 件名：【ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム_応募】+ 貴社名



応募締切

2024年6月24日（月） 23:59まで ※締め切り前にも、選考を開始する場合があります

下記6点の観点を総合的に評価して派遣先vcを選定します

選考の観点

【必須条件】

① 知財専門家を派遣することで課題解決や成長が期待できること（以下の項目から総合的に判断）

- 知財面で課題を抱えており、知財専門家を派遣することで課題を解決することが期待できる
- 自社内に知財部門を有しておらず（事業会社系CVCの場合は関連組織内も対象）、かつ、外部の知財専門家との実質的な連携がない
- （過年度採択VCの場合）今年度の派遣を通してさらに知財面での成長が期待できる

【必須条件（②、③の何れかが必須）】

② ディープテック※領域スタートアップへの支援を行っていること

- ディープテック領域スタートアップへの有効な支援を実施しているか、実施したことがある

③ 首都圏以外の地域においても密着した支援活動を行っていること（以下の項目から総合的に判断）

- 首都圏以外の地域に自社が所有、運営もしくは提携する、一定規模のインキュベーション施設を有している
- 首都圏以外の自治体や大学・研究機関と連携した取組を行っている

【以下、加点要素】

④ 本プログラムへのコミットメントが高いこと

- 知財支援を体系的に実行するビジョンを描けており、そのために現状解決すべき課題が明確となっている（知財業務に関する工夫された計画が策定されている）
- 特許庁や事務局と密にコミュニケーションをとることが出来る体制を構築している
- 知財専門家の活動内容を積極的に特許庁や事務局に共有できる体制を有している
- 専門家から得られた知見や本プログラムの成果を、社内及び支援先スタートアップに積極的に展開共有する意欲がある

⑤ スタートアップ設立当初から支援を行っていること

- シード・アーリー期のスタートアップへの投資割合が高い
- スタートアップ設立前の個人や大学研究者に対する支援を行っている

⑥ 責任の高い投資を実施していること

- リード投資の割合が高い
- チケットサイズが大きい

※ディープテック

特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のある技術。

応募フォームの色が付いたセルに必要な事項の記入もしくはプルダウンで選択を行ってください

応募フォームへの記入方法 「1.基礎情報」①

 記入・プルダウン欄

1. 基礎情報

企業名				
本社所在地(住所)				
企業URL				
企業概要 (貴社の特徴や投資方針等を記載ください)	例:当社は、●年●月に、〇〇を目的として設立されたベンチャーキャピタルである。現在は、▲▲技術や△△技術を有する■●大学発スタートアップに主に投資しており、今後は□□の分野にも投資をしていき、投資ポートフォリオを拡張予定である。 <div>貴社の特徴や投資方針等を記載ください</div>			
本プログラムに参加する部署名	例:投資部、CVC室			
上記部署の責任者	氏名		役職	
	Email		電話番号	
上記部署の担当者(本プログラム担当窓口)	氏名		役職	
	Email		電話番号	

本事業の応募主体となる部署及び担当者様の情報を記入ください

応募フォームの色が付いたセルに必要な事項の記入もしくはプルダウンで選択を行ってください

応募フォームへの記入方法 「1.基礎情報」②

投資先スタートアップの総数 (各年度4月時点)	2021年度		社	2022年度		社	2023年度		社	2024年度					
上記の内、リード投資先スタートアップの数 (各年度4月時点)	2021年度		社	2022年度		社	2023年度		社	2024年度					
投資対象とするスタートアップの成長ステージごとの 投資社数(2024年時点) ※複数記入可	スタートアップ 設立前		社	シード		社	アーリー		社	ミドル		社	レター		社
投資対象とするスタートアップの成長ステージごとの ディープテック領域スタートアップへの投資割合 (2024年時点) ※複数記入可 ※割合はおよそで構いません	スタートアップ 設立前		%	シード		%	アーリー		%	ミドル		%	レター		%
現在投資しているスタートアップの技術領域とその社 数(2024年度4月時点) ※複数記入可	AI・情報技術		社	素材		社	バイオ/医療/ヘルスケア		社	ロボティクス		社			
国立研究開発法人(AMED, NEDO)の事業における 認定VCへの採択実績															
これまでの運用ファンド総額				円											
現在運用中のファンド総額				円											
平均チケットサイズ				円											
これまでに支援(投資)した、あるいは現在支援中の ディープテック領域スタートアップがあれば、代表的な 投資先(最大5社程度)について、社名、スタートアップ のステージ、支援内容を教えてください															

貴社として主に投資する対象のSU成長ステージ
※ステージ分類は、貴社での分類基準で構いません

- 参考：技術領域の詳細
- AI・情報技術：「通信・ネットワーク及び関連機器」「コンピューター及び関連機器、ITサービス」「ソフトウェア」
 - 素材：「ナノテクノロジー、材料」
 - バイオ・医療・ヘルスケア：「バイオ、製薬」「医療機器、ヘルスケアサービス」
 - ロボティクス：「金属、電子・デバイス、機械」

可能な範囲で具体的にお答えください

インキュベーション施設を保有、運営もしくは提携している場合は名称・所在地・入居者数を教えてください。	名称		所在地 (住所)		入居社数		社
地方自治体や地方の大学・研究機関と連携した取組を行っている場合は取組の内容を教えてください							

可能な範囲で具体的にお答えください

応募フォームの色が付いたセルに必要な事項の記入もしくはプルダウンで選択を行ってください

応募フォームへの記入方法 「2.応募者の知財支援ニーズ」①

2. 応募者の知財支援ニーズ(該当する部分のみ記入してください)

2-1. 派遣を希望する知財専門家の専門領域を選択してください。※複数選択可。							
AI・情報技術		素材		バイオ/医療/ヘルスケア		ロボティクス	

2-2. 貴社のスタートアップへの投資業務の各段階にて知財支援を行っている場合は、その内容を記載してください。(行っていない場合は、その旨記載してください。)
※投資前か投資後かによって支援内容に違いがある場合や、スタートアップの成長ステージごとに支援内容に違いがある場合は、違いが分かるように記載してください。

例：●●の段階では、スタートアップの技術の理解のため、□□事務所の弁理士と共に大学を訪問し、…。/▲▲の段階では、デューデリジェンスを行うために、知財専門家にFTO調査の依頼を行っている/●●の段階では、投資後のスタートアップに対して、弁理士資格を有するキャピタリストから特許の出願方針について助言し…。

発掘・接触 段階	
審査・評価 段階	
成長支援 段階	

2-2 現状の知財支援の内容を貴社の投資業務のステップ(発掘・接触～成長支援)ごとに記載ください

2-3. 貴社における、スタートアップに対する知財支援の課題を記載してください。
※投資前か投資後かによって知財支援における課題に違いがある場合や、スタートアップの成長ステージごとに知財支援における課題に違いがある場合は、違いが分かるように記載してください。

例：●●のため、知財専門家を招聘したいがネットワークがない、適切な専門家がわからない/知財専門家とうまくコミュニケーションをとることが出来ず、成果物も期待通りの内容がなかったため、以降、活用をあきらめた/知財専門家へ何を依頼してよいかわからず、活用に至らなかった。/●●のため、投資前のスタートアップが保有する特許について、コア技術を守っているかの確認や、他社が保有する特許との比較ができていない。/▲▲のため、投資後のスタートアップに対し、権利化されていない技術に関する特許の出願方針について助言できていない。/投資後のスタートアップに対し、国内外の競合他社に対抗するための知財戦略構築支援ができていない。

2-3 知財支援の課題として、特許の権利範囲やビジネスの関係まで確認できていない、知財戦略構築の支援が出来ていない等を具体例を交えて記載ください

応募フォームの色が付いたセルに必要な事項の記入もしくはプルダウンで選択を行ってください

応募フォームへの記入方法 「2.応募者の知財支援ニーズ」②

2-4. 本プログラムへの応募理由を記載してください。(本プログラムを通して、知財専門家に依頼したい支援内容も含めて記載してください。) ※投資前か投資後かによって依頼したい支援内容に違いがある場合や、スタートアップの成長ステージごとに依頼したい支援内容に違いがある場合は、違いが分かるように記載してください。 例: ●●のため、投資前のスタートアップに対する知財デュー・デリジェンスや〇〇について助言いただくことで、▲▲したいと考えており、応募した。／△△のため、投資後の■分野のスタートアップに対し、事業戦略に連動した知財戦略を構築していただくことで、□□したいと考えており、応募した。
2-5. 知財専門家による支援活動を通じて、どのような知見を獲得したいと考えていますか。また、獲得した知見を活かして、今後どのような知財支援をスタートアップに提供しようと考えていますか。 例: 投資前にスタートアップが保有する知財を適切に評価できるように知財デュー・デリジェンスにおける●●や〇〇を身につけたい。また、その際にキャピタリストが知財専門家に対して適切な依頼を実行できるようポイントを言語化し、組織的に知見を活用できるようにしたい
2-6. 現在連携している知財専門家がいる場合は、(専門家に)依頼している業務内容・やり取りをする頻度(打ち合わせの頻度・依頼する業務の件数等)を記載してください。(差し支えなければ、連携している知財専門家のお名前も記載してください。) 例: ●●の場合、投資前のスタートアップが保有する特許について、月に1回程度、〇〇を依頼している。／投資後のスタートアップの出願業務を依頼している。(連携している知財専門家: 〇〇氏)
2-7. 現在連携している知財専門家がいる場合は、本プログラムによって追加で知財専門家による支援が必要な理由を記載してください。 例: 現在連携している専門家には●●を依頼しているが、〇〇の支援までできていないため、本プログラムでの支援を希望する。

2-4 専門家とのマッチングの参考とするため、応募理由や期待する専門家の支援内容を記載ください

2-5 本プログラムの目的である「支援を通して、専門家の知見・ノウハウをVCに蓄積すること」を踏まえて記載ください

2-6 弁理士や弁護士に連携・依頼している業務がありましたら、記載してください

2-7 連携している専門家と派遣する専門家の棲み分けを記載してください

応募フォームの色が付いたセルに必要な事項の記入もしくはプルダウンで選択を行ってください

応募フォームへの記入方法 「3.応募者の派遣受け入れ体制」①

3-1 事務局・特許庁との密なコミュニケーションにご協力ください

3. 応募者の派遣受け入れ体制

3-1. 派遣期間中、月に1回程度の事務局との打ち合わせや専門家支援における事務局や特許庁の同席について、同意いただき、守秘義務の範囲内で情報を開示いただけますでしょうか。			理由 (いいえの場合)	
3-2. 知財専門家とスタートアップ支援を行うキャピタリスト等の情報を記載してください。				
1人目	氏名		所属	
	専門分野(得意とする技術領域等)			
2人目 (任意)	氏名		所属	
	専門分野(得意とする技術領域等)			
3人目 (任意)	氏名		所属	
	専門分野(得意とする技術領域等)			
3-3. 知財専門家が、上記キャピタリストとともに、支援のためにスタートアップを訪問することは可能でしょうか。			理由 (いいえの場合)	

3-2 専門家と伴走するキャピタリスト等を1名以上記載してください

応募フォームの色が付いたセルに必要な事項の記入もしくはプルダウンで選択を行ってください

応募フォームへの記入方法 「3.応募者の派遣受け入れ体制」② /「4.VC-IPAS事業以外への記者の情報提供同意・希望の有無」

3-3~6 貴社における知財専門家の受け入れ体制の整備状況や計画を教えてください

3-4. 上記キャピタリストが派遣された知財専門家とどのように連携する予定か、想定しているコミュニケーションの方法や頻度等を記載してください。

例：〇週間に1回程度知財専門家とキャピタリストの打ち合わせを行い、●●について議論を行う。／知財専門家に社内キャピタリストが集まる定例会議に参加いただき、△△について情報共有してもらう。

3-5. 知財専門家から得られた知見や本プログラムの成果を、貴社において共有するために検討している工夫や計画を説明してください。

例：社内の定例打ち合わせにおいて、●●に関する情報を報告する機会を設ける。当社のキャピタリスト向けに〇〇に関する知財セミナーを実施する。

3-6. 知財専門家から得られた知見や本プログラムの成果を、投資先スタートアップにおいて展開するための計画を説明してください。

例：スタートアップへの投資後に、VCから●●について確認する機会を必ず設ける。投資先スタートアップ向けの〇〇に関する知財セミナーを当社主催で実施する。

4. VC-IPAS事業以外への貴社の情報提供同意・希望の有無

特許庁の他の事業、経済産業省地域経済局、独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)へ貴社の情報を提供することに同意する場合には、プルダウンにて選択ください。同意いただいた方には、他の支援制度や、知財イベント・研修の案内を送付させていただきますことがあります。

4 回答をお忘れないようお気を付けください

1. 事業担当からのご挨拶
2. VC-IPASの概要について
3. 応募に関するご説明
4. **プログラム参加の留意事項**

応募にあたり、「知財専門家の計画的な活用」、「事務局・特許庁との密なコミュニケーション」、「知財専門家の役割の理解」にご協力ください

プログラムに参加における留意事項

☆ プログラム参加にあたり、以下の点にご留意ください

01

知財専門家の計画的な活用

- 知財専門家の派遣時間はVC1社あたり合計200時間です
- 知財専門家への依頼事項などを整理し、派遣時間を上手く活用していただくようお願いします

02

事務局・特許庁との密なコミュニケーション

- 事務局や特許庁もタイムリーに皆様の活動をフォローしていく予定ですので、知財専門家とだけやり取りするのではなく、事務局や特許庁を含めてコミュニケーションをとるようにしてください
- なお、事務局も契約上の秘密保持義務を負っていますので、ご安心ください。

03

派遣される知財専門家の役割の理解

- 知財専門家の役割は、貴組織における知財支援に必要な支援を行うものです
- 特許及び商標、意匠、実用新案登録出願における一連の手続きや契約書の作成などは本プログラムの支援内容に含まれません

VC-IPAS2024の応募締め切りは6月24日（月）となっていますので、参加を希望される場合は、募集要領を確認のうえ、お申し込みください

最後に

応募締め切り 2024年6月24日（月）

募集要領、応募フォームのダウンロードはこちらから！



<https://ipbase.go.jp/for-vc/>



みなさまからのご応募をお待ちしております。

本公募のお問い合わせは以下の連絡先までお願いいたします

お問い合わせ及び応募資料提出先（メールアドレス）

ご不明な点がございましたら
お気軽にご連絡ください

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング

ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）（有限責任監査法人トーマツ内）

担当：高木 敏幸、高橋 令奈、西田 那奈

TEL：03-6213-1251

メール：vcipas-office@tohatsu.co.jp